

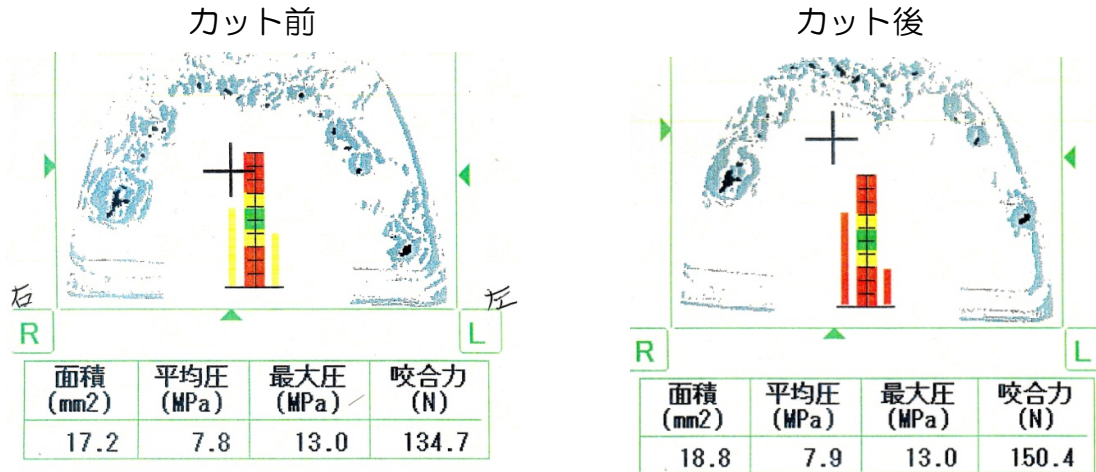
Lift up Cut 法による心身への影響 《 実験 4 》

専用の感圧フィルムを用いたデンタルプレスケール検査法により、咬合接触面積、平均圧、最大圧、咬合力をカット前、カット後で測定。〈 咬合力 1N=0.1kg 〉

【結果】

2人の被験者に対して行ったが2人ともカット後、咬合接触面積、咬合力に増加が見られた。また1名に関しては、カット前は咬合の重心が左にずれていたが、カット後はその重心が中央になり、理想的な状態になっていた。11カ月経過してからもその状態は続いている。

・女性 A

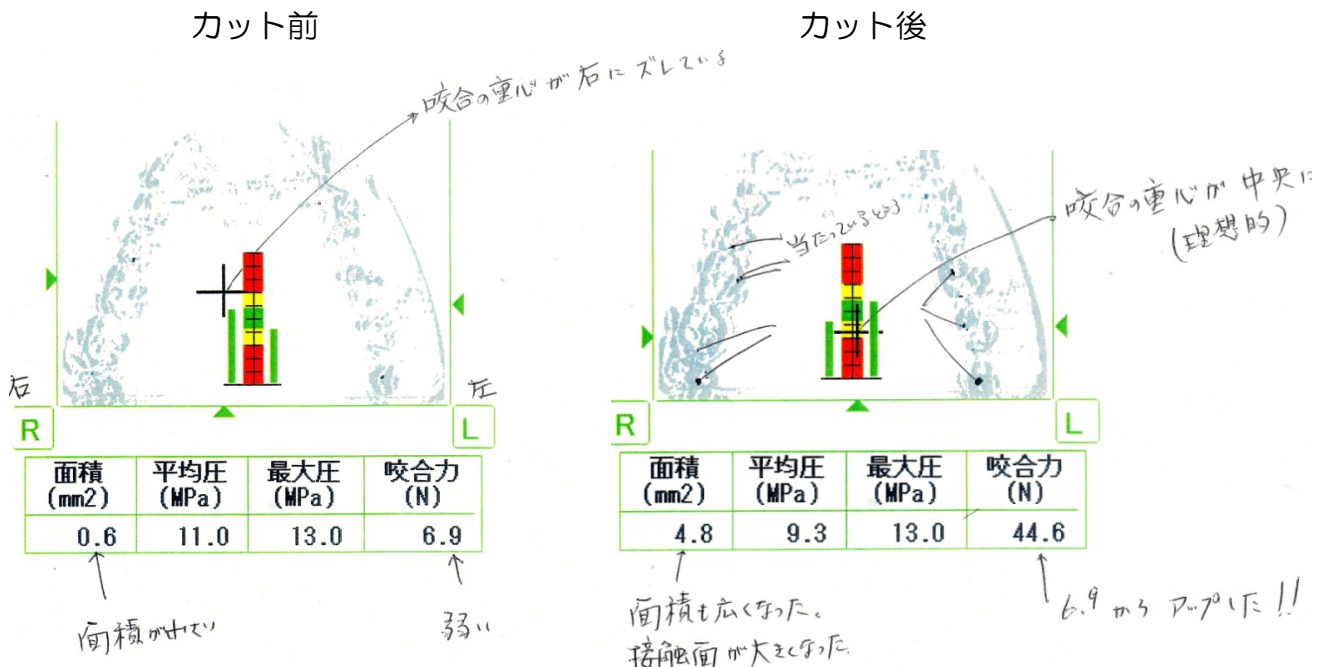


◇咬み合わせの中心が右に偏っている。

◇咬合接触面積が 17.2 mm²から 18.8 mm²に増えた。

◇咬合力が 134.7N から 150.4N に増加した。

・女性 B



◇上下の接触面積が小さくなっている。

(咬み合わせが良くない)

◇咬合力が小さい。(ほとんど咬めていない)

◇咬み合わせの応力重心が中央にきた。

◇接触面積が 6.9N から 44.6N に増加した。

※ 本件の全部または一部を無断で複写・複製・転載することを禁じます。